

半田市立半田病院改革プラン 平成23年度点検評価 ダイジェスト

半田病院の果たすべき役割

①地域の基幹病院として、救急医療・先進医療を含む、質の高い急性期医療の提供に努めます。

- ICU22病床のフル稼働
- 循環器内科の充実
- 紹介、逆紹介率は地域支援病院承認基準を満たすレベルとなった
- 知多半島の基幹病院として心臓外科の休止は解決すべき
- 看護師数の確保

平成23年度
全体評価：
及第点 B+

評価：
及第点 B

評価：
及第点 B+

②医療安全の徹底を図り、
安全で安心な医療を提供します。

- 東日本大震災を教訓とした災害対策の見直し
- 接遇研修、若手育成研修等によるコミュニケーション能力の向上に努めた
- OHPの更新、Facebookによる情報発信
- 医師事務補助員の充実

- 患者アンケートでの目標が未達成
- 医療安全に関する具体的取り組みのアピールが不足

「地域に愛され信頼される病院づくり」

③地域完結型医療を目指し、地域の医療機関、介護施設等との密接な連携を図るとともに、地域全体の医療の質向上に貢献します。

- 登録医制度の開始
- 紹介率と逆紹介率の大幅な向上
- がん連携パス22件の実績

- 地域完結型医療の達成と心臓外科の休止という現実とのギャップ
- 新常滑市民病院との連携はスピード感を持って進める

評価：
優秀A-

評価：
及第点 B+

④病院経営の健全化に努め、
安定・継続的に医療サービスを提供します。

- 収支実績で黒字が見込まれ改善の効果が発揮されている
- 使用薬剤・材料の統一化や材料管理の徹底、ジェネリック医薬品等の使用による経費節減
- 経営状況の情報公開に向けた前向きな姿勢

- 研修医の確保については定員割れとなった

目標達成度	評価	進捗度%
優秀レベル	A+	101~
	A	95~100
	A-	90~94
	B+	85~89
及第点レベル	B	75~84
	B-	70~74
	C+	65~69
要努力レベル	C	55~64
	C-	50~54
落第レベル	D	~50

半田市立半田病院改革プラン 平成21～23年度総合点検評価 ダイジェスト

半田病院の果たすべき役割

①地域の基幹病院として、救急医療・先進医療を含む、質の高い急性期医療の提供に努めます。

- ICU22病床のフル稼働
- コンビニ受診防止の周知による一次救急患者の軽減
- 放射線治療機器の更新導入を始めとする高度専門体制の整備
- 紹介・逆紹介率は目標とする地域支援病院承認基準を満たすレベルとなった。
- 愛知県がん診療拠点病院の指定取得

- 知多半島医療圏の基幹病院として心臓外科の休止は解決すべき
- 看護師数の確保

総合評価
平成21～23年度
全体評価：
及第点 B+

評価：
及第点B

評価：
及第点B

②医療安全の徹底を図り、
安全で安心な医療を提供します。

- 災害、緊急時の対策を進めた
- 薬剤師の病棟配置
- ピッキングマシンによる調剤の導入
- 指名制の医療安全・感染予防研修の実施
- ワクチンプログラムの開始
- いのちの教育を始めとするCSRの実施

- 医療安全に対する要求レベルは高いため、より一層の具体的な実践が質・量ともに必要
- 医療安全に関する具体的な取り組みのアピールが不足

「地域に愛され信頼される病院づくり」

③地域完結型医療を目指し、地域の医療機関、介護施設等との密接な連携を図るとともに、地域全体の医療の質向上に貢献します。

- 登録医制度の開始
- 紹介率と逆紹介率の大幅な向上
- 介護施設との連携やシームレスケア連携会の開催

- 地域完結型医療の達成と心臓外科の休止という現実とのギャップ
- 新常滑市民病院との連携はスピード感を持って進める

評価：
優秀A-

評価：
優秀A-

④病院経営の健全化に努め、安定・継続的に医療サービスを提供します。

- 収支実績は平成21年度と比較し大幅に改善
- 使用薬剤・材料の統一化や材料管理の徹底、ジェネリック医薬品等の使用による経費節減
- 医師・看護師確保への積極的な取り組み
- 医師事務補助員の増員
- 経営状況の情報公開に向けた前向きな姿勢
- 電子カルテの導入と安定稼動の実現

- まだまだ人材は不足しており、医師・看護師の確保について引き続き改善が必要
- 経営及び病院機能を鑑み、早期の7対1看護体制の構築が望まれる

目標達成度	評価	進捗度%
優秀レベル	A+	101～
	A	95～100
	A-	90～94
及第点レベル	B+	85～89
	B	75～84
	B-	70～74
要努力レベル	C+	65～69
	C	55～64
	C-	50～54
落第レベル	D	～50